

株式会社浜屋

「もったいない」MOTTAINAIを広めよう

サステナビリティレポート2020



Contents

01	企業案内
02	循環型社会
03	UNGC
04	働き方
05	サステナビリティ

代表メッセージ



できる限りのことを
ただしっかりと
実行していく

私たちはこれからも、循環型社会の実現に向けて日本、
そして世界に3Rを支える大切な概念として
「もったいない (MOTTAINAI)」を広めていきます。

株式会社浜屋
代表取締役

小林 茂

「できる限りのこと」を、ただしっかりと実行していく

私は、企業は「社会の公器であるからこそ、できる限り社会に御返しする」という信念があります。2020年は、コロナ禍で社会不安の深刻さが増し、雇用や健康のリスクも高まりましたが、従業員一丸となって企業経営に取り組んで行った結果、雇用や取引先を守ることができました。新型コロナウイルス感染症の対策についても、発生当初から従業員だけでなく事業関係者や地域社会に対しても感染予防の指導や物資の提供を積極的におこなったことで、リスク管理の体制を実現することができました。

ダイバーシティ経営の推進

浜屋は、これまでも育児や介護と仕事の両立、障がい者就労支援の推進、高齢者の就業促進などの環境整備に取り組んできました。今後は、社会情勢やライフスタイルなどの変化を見据えながら、女性の管理職登用や外国人など「多様な人材」を活用していくダイバーシティ経営を推進していきます。

循環型社会を目指して

今後も、廃電子基板や廃電子機器等の回収・加工を増加させ、さらなる循環型社会の一翼を担っていきます。

浜屋について

創業 **30** 年

設立

1991年1月21日

資本金

6,000 万円

〒355-0076

埼玉県東松山市下唐子1594

0493-24-5345 (TEL)

0493-25-2968 (FAX)

従業員数

353 人

売上高

97.7 億円

拠点

19 カ所 (国内)

2 カ所 (海外)

13 カ所 (その他事業)

リサイクル事業

浜屋
東松山
事業所



PC基板等
の解体、
破碎、分別

浜屋
分析
センター



金属資源
含有量の
分析

浜屋
ブラジル



PC基板等
の解体、
破碎、分別

リユース事業

ユーズドネット



再商品化

tanuki



古道具・骨董品
北欧家具の売買

浜屋
フランス

その他事業

保育

フィットネス

保険事業

飲食事業

※グループ企業含む



REUSE

リユース事業では、これまで家電製品を中心に商品の取扱量を増やしてまいりました。現在では、家電製品だけではなく、生活用品全般まで取扱品目を広げております。グローバル循環型社会構築に貢献するため、これからも日々努めてまいります。



日本では、まだまだ使用できる製品が大量に廃棄されていますが、海外では、日本で流通している商品の質が高いことはよく知られており、大きな需要があります。資源やエネルギーの効率化を考えれば、まだ使用可能な製品をゴミにするのではなく、それらを必要としている世界中の人たちへ届けることが望ましいです。そのため、浜屋では廃棄される運命にあった製品を中古製品として買取り、海外へ輸出販売する事業を積極的に行っています。このように限りある資源のグローバル循環の一翼を担っているのが、リユース事業です。





Reuse (国内)

一部の商品はグループ企業でクリーニング、修理、整備をおこなって、リユース品として国内流通しています。

国内流通点数

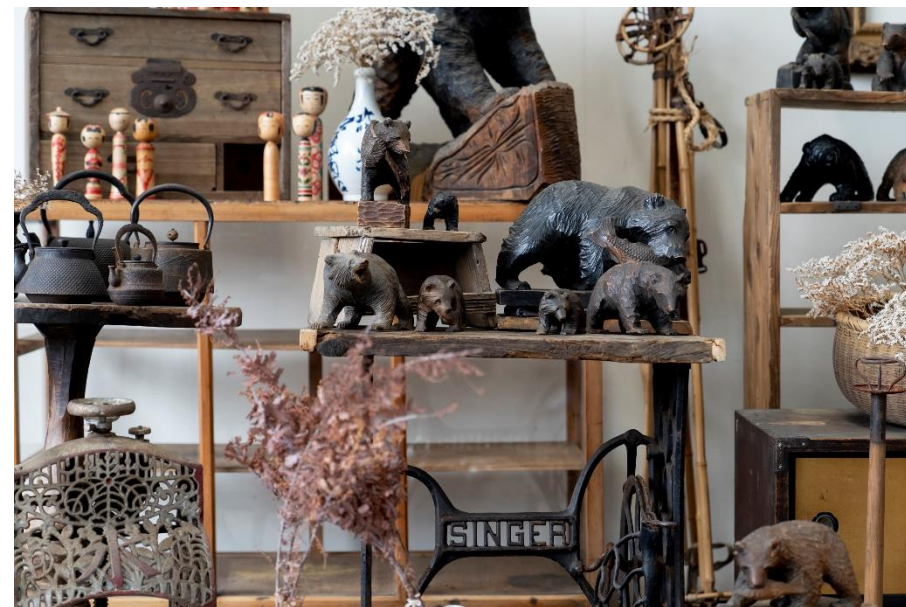
147万点/年

 **USED NET** 商品状態の確認、整備

 **TANUKI** 古道具・骨董品の売買



リユースで心からの笑顔を増やします



Tanukiは再生の象徴である金の精霊とされています

両事業はWEBやイベントを通じて、リユース品として国内販売をおこなっています。



Reuse (海外)

浜屋が送るリユース品の到着を世界中が期待して待っています。

フランス



取扱実績国数

62カ国/2020年度

アンゴラ



コンテナ輸出本数

2,300本/年

パキスタン



タイ



フィリピン



チリ



商品輸出点数

727万点/年

できる限りのことを
ただしっかりと
実行していく

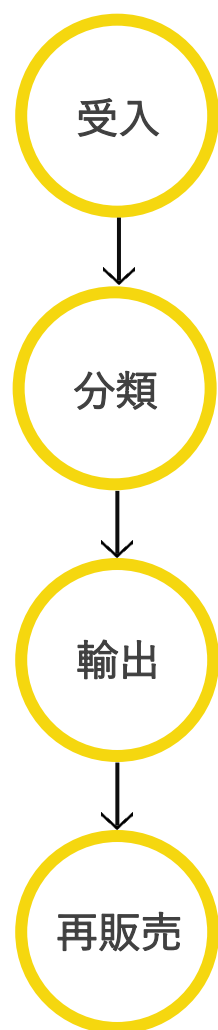
2020年は、コロナ禍の混乱の影響で、日本から送ったコンテナが現地で降ろせない事態が多く発生しました。降ろすことができない一部のコンテナを日本に送り返すことになりましたが、当社が送料を半額負担しました。それは、これまでお互いに自国の発展を願ってビジネスに取り組んできたからです。ビジネスパートナーが困っているとき、自分だけ得をするのではなく、お互いにコストとリスクを折半すれば、win-winになります。持続可能な開発目標も、同じような精神で取り組んでいきます。



Reuse (海外)

浜屋では廃棄される運命にあった製品を中古製品として買取り、海外へ輸出販売する事業を積極的に行っています。このように限りある資源のグローバル循環の一翼を担っているのが、リユース事業です。

リユースの流れ

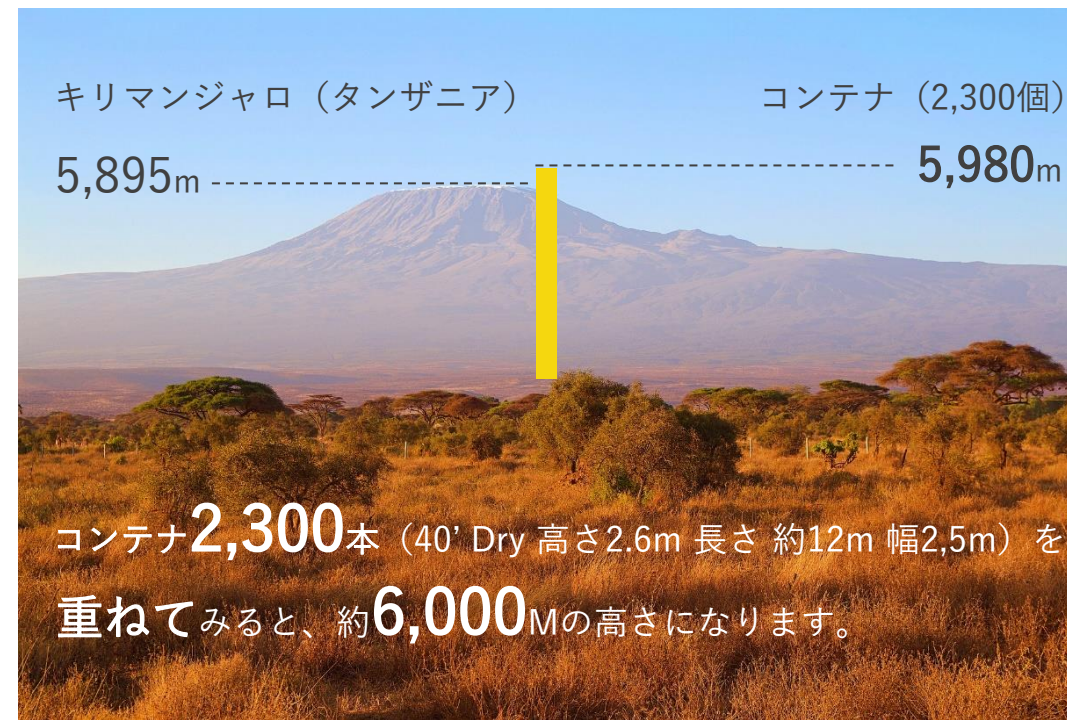


①全国の各店舗に集まる不用品、②行政に集まる一般家庭の不用品、③企業から排出される不用品などのなかから、リユース・リサイクルできるものを回収して廃棄物削減

回収した家電、家具、雑貨などから、リユース・リサイクルできるものに分類

集まったリユース品を海外に輸出します

現地の業者がメンテナンスして販売



並べてみると





RECYCLE

浜屋では全国17拠点を活用し、鉄・銅・アルミなどベースメタルと言われる金属資源のリサイクル循環を可能にするために、回収・分別・加工を行うベースメタルリサイクル事業を展開しております。また、都市鉱山リサイクル事業は、廃電子基板等に含まれる貴金属の含有量を分析できる環境を自前で整えるとともに、分解・破碎などの加工作業を担う工場を運営し、一連のリサイクル過程のなかの大きな役割を担っています。このような取り組みが競争力を高め、適正かつ高単価での買取りを可能にしているため、安定した品質のリサイクル材を納品することにつながっております。このように持続可能な社会構築を拡大していくべく取り組んでおります。



Recycle

ベースメタルリサイクル事業



鉄・銅・アルミなどベースメタルと言われる金属資源のリサイクル循環を可能にするために、回収・分別・加工を行うベースメタルリサイクル事業を展開しています。

日本では、限りある金属資源を有効活用するために様々なリサイクルシステムと技術が存在します。金属資源を安定的にリサイクルするためには、回収網の構築と、リサイクル可能な状態に分別・加工することは非常に重要です。

浜屋では全国17拠点を活用し、安定した金属資源の回収に努めています。回収された金属資源は、最適なりサイクルシステムにより新たな資源へと生まれ変わっていきます。

ベースメタル取扱量

2020/年度 **49,907**t



Recycle

都市鉱山リサイクル事業

パソコンや携帯電話等の精密機器等に使用されている基板には、金・銀・パラジウム・プラチナなどの希少な貴金属が含まれています。

当社では廃電子基板や廃電子機器等を回収・加工し再資源化していくリサイクル事業を展開しております。

日本には、希少な金属資源を効率よく回収しリサイクルする最先端の精錬技術があります。私どもはこの日本の高度な精錬技術に着眼し、世界での競争優位性を確保して、国内のみならず世界で廃電子基板・廃電子機器等を回収し、精錬工場へ橋渡しをするリサイクル事業を展開しています。

廃電子基板等に含まれる貴金属の含有量を分析できる環境を自前で整えるとともに、分解・破碎などの加工作業を担う工場を運営し、一連のリサイクル過程のなかの大きな役割を担っています。このような取り組みが競争力を高め、適正かつ高単価での買取りを可能にしているため、安定した品質のリサイクル材を納品することにつながっております。

このように持続可能な社会構築を拡大していくべく取り組んでおります。

HAMAYA CORPORATION SUSTAINABILITY REPORT 2020

廃棄基板の再資源化への取り組み

破碎



東松山事業所

解体



障がい者の就労支援施設（NPO）で作業

分析



金属資源の含有量の分析・評価

分別



材質ごとに分別

精錬会社に出荷

再資源化

都市鉱山取扱量

2020/年度 **3,518t**



Recycle

障がい者の就労機会の創出と就労支援



HAMAYA CORPORATION SUSTAINABILITY REPORT 2020

浜屋が回収した小型家電の解体・分解を障がい者の就労支援施設に委託することで、障がい者の就労機会の創出と就労支援に役立てられています。解体・分解された製品を材質ごとに分別し、精錬加工に向けたリサイクル作業がおこなわれます。一連のリサイクル作業によって、鉄、希少貴金属、レアメタルなどの資源の無駄を無くすだけでなく、廃棄ロスによる資源の枯渇、焼却や埋め立てによる大気や土壌の汚染などの防止抑制によって、循環型社会実現の一助になります。

国連グローバル・コンパクト (UNGC) 署名

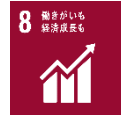
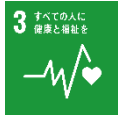


株式会社浜屋は、2018年11月、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト」(以下UNGC)へ署名し、参加企業として登録されるとともに、日本におけるローカルネットワークである「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」に加入いたしました。浜屋は、国連グローバル・コンパクトの掲げる「人権・労働・環境・腐敗 防止」に関する10原則を支持し、すべてのステークホルダーに対して責任ある経営と持続可能な社会の発展に向けた取り組みを推進してまいります。

株式会社浜屋 代表取締役
小林茂

国連グローバル・コンパクト
<https://www.unglobalcompact.org>

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン
<http://www.ungcjin.org>



新型コロナウイルス感染防止の徹底 -行動変容-

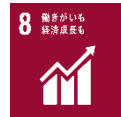
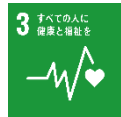
「これまでの当たり前」ではなく、
「これからの当たり前」になることを念頭に、
新型コロナウイルスの感染予防の徹底を図っています。

新型コロナウイルス感染症の事態の収束が見られるまで、ライフスタイルや働き方の意識や行動を見直すことから始めました。厚生労働省の定義によると、集団感染の共通点は、「換気の悪さ」、「人が密に集まって過ごす空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避ける条件を回避しなくてはなりません。そこで、3密（密閉・密集・密接）の防止、換気、時差通勤、リモートワークに取り掛かりました。特にオフィス業務のリモートワークの推進は、在宅業務で3密回避とオフィスのダウンサイジングにつながり、生産性の向上もみられました。不安視していたコミュニケーション、育成、管理などで課題は見られず、結果として働き方改革にもつながっています。また、取引業者や地域社会に対して、来店時にマスクを持っていない方へのマスクの無償提供、着用していない人に着用の声掛け、希望者に次亜塩素酸水の無償提供などをおこなって、感染予防に努めました。



食い止める
エアロゾル（飛沫核感染）予防

入室時はマスクの着用だけでなく、検温器で体温の測定と手指のアルコール消毒を徹底しています。対面で接する受付や会議室などには、クリアパネルを設置してエアロゾル（飛沫核感染）予防の措置をおこなっています。その他、ドア、パネル、机など不特定多数の人が接触する箇所も定期的に除菌しています。



新型コロナウイルス感染防止の徹底 -行動変容-

自粛

集まり

社内外の飲食を伴うイベントを禁止としました。社内で親睦会を実施する際は、オンラインを活用し、諸経費は会社負担としました

3密

「密閉・密集・密接」の状態・状況にならない職場環境を徹底しています

公共交通機関

通勤や移動はできるだけ車の利用、電車通勤の従業員は時差通勤を勧めています

義務

接触確認アプリ

全従業員に、新型コロナウイルスの陽性登録した人との接触を知らせるアプリCOCOAを導入しました

消毒

手指の消毒の徹底をおこなっています

検温

検温器で体温のチェックをおこない、37°C以上は出勤や入室を禁止しています

整備

換気

定期的に換気をおこなって、室内の空気をリフレッシュしています

感染防止の啓発

気の緩みの防止ため、定期的に行動変容の徹底を促しています

健康増進

運動やストレッチを推進して、運動不足やストレス解消などを促しています

手洗い・うがい

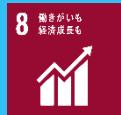
昼食や休憩の時、手洗い・うがいを促して消毒液以外の除菌の習慣に努めました

リモートワーク

在宅勤務が可能な職種の従業員は出勤せず、自宅で仕事を遂行できるように支援しています

除菌

習慣的にドア、机、椅子など手に触れる箇所の消毒をおこなっています



安心と安全

株式会社浜屋は、全ての従業員が安心して働ける環境づくりに努めています。

雇用の遵守

本業がしっかりしている限り「雇用を守る」それが、当社の経営方針です。

雇用を守る

緊急事態宣言に伴う飲食店の休業の要請に基づき、飲食店の営業が停止となり、従業員は自宅待機となりました。当社は、従業員の給与の9割を保証しました。

特別休暇付与

新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は、検査結果が出るまでコロナ休暇（特別休暇付与）となり、蔓延防止の措置がとられます。

会社負担

国からのPCR検査費用負担を受けられない場合は、本人及び同居家族について会社負担（PCR検査以外の費用は別）します。

事故の共有化と予防策の徹底

▷事故を繰り返さないよう事故の状況と予防策の共有

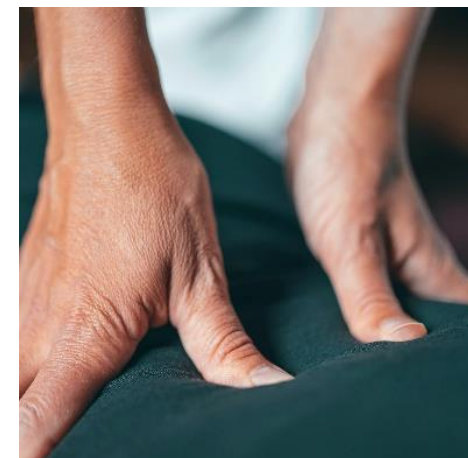
▷事故には至らなかったヒヤリハットを毎日朝礼で情報共有

業務負担の軽減

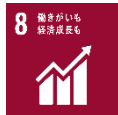
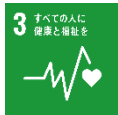


デジタル技術の活用を進めています。お客様の待ち時間の短縮による顧客満足度の向上、従業員の業務負担の軽減などにもつながっています。

マッサージの無償提供



現場作業をおこなう従業員に、怪我防止を目的にしたマッサージ施術を無償で提供しています。



働きがいのある環境づくり

育児休業制度

浜屋は、育児休業制度を男女の性別関係なく取得することを推奨しています。
従業員の産休・育児の負担を軽減して、安心して働ける環境づくりに取り組んでいます。

休職者に対して定期的なフォローをおこなって、育児休業中の心の支援や職場復帰するタイミングなど
復職支援の面談を実施しています。今後も復職しやすい環境を整え、女性の社会進出を支援しています。

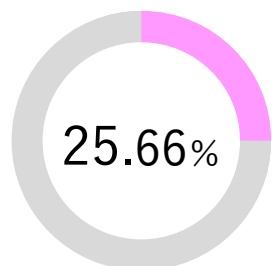
育児休暇取得率
100%

有給休暇

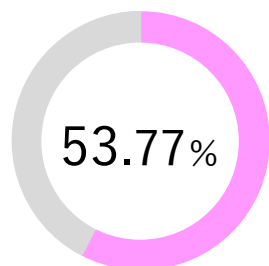
人員が少ない拠点の従業員が有給休暇の取得ができるように、サポートメンバーを採用して各地へ派遣し、有給休暇を取得しやすい環境を整えました。有給休暇取得の定着を促すことで休日とリフレッシュの機会を増やし、「働き方改革」の実現に向けた環境づくりに取り組んでいます。

有給休暇取得率

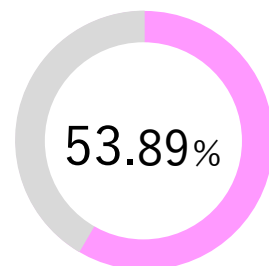
2017.10.01~2018.09.30



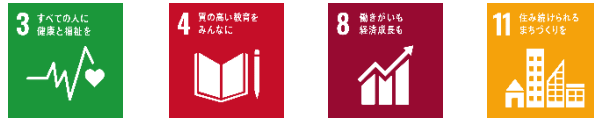
2018.10.01~2019.09.30



2019.10.01~2020.09.30



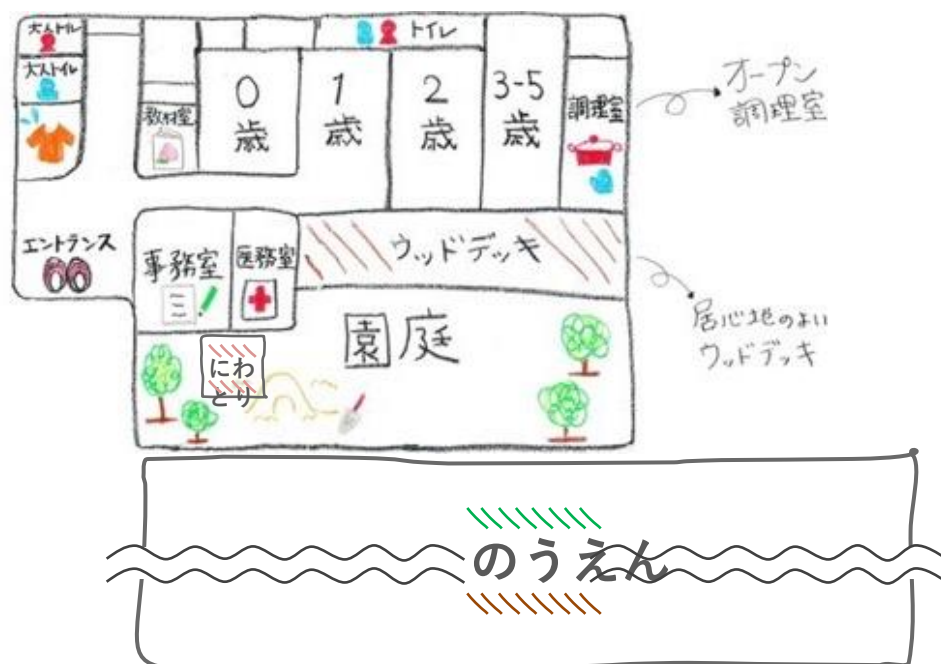
働き方



働きがいのある環境づくり

経営者の「女性が活躍できる環境を整えたい」という思いから2018年に企業主導型保育施設「もれあ保育園」が開園しました。従業員が子育てのため退職を余儀なくされることがあったので、今後そのような事態を生じさせないように、出産後も安心して働ける環境の整備を進めています。園で働く従業員は、持ち帰り仕事の非推奨、ノー残業の推奨（残業時の残業代は支給）、子育て支援制度（休暇の取得）などを通じて、仕事と私生活のバランスがとれた働き方を推進しています。

育みある環境



もれあ保育園

<http://morea.hamaya-corp.co.jp/>

埼玉県東松山市大字新郷 11-1 TEL：0493-81-6657

開園日：2018年7月9日

生後6カ月～5歳児 入所定員30名

※地域の子どもは定員の50%まで

企業主導型保育施設とは、多様な就労形態に対応した保育サービスが可能な事業で、他企業との共同利用や地域の子どもの受け入れもおこなってます。

園は会社の近くにあるので従業員の送迎の負担は少なく、子どもの発熱や怪我などの事態が発生しても、すぐに駆け付けられるので安心感もあります。また同じ会社の従業員の子どもを預かる意味で一体感が生まれています。

円滑なコミュニケーション

ICTシステムを活用して、園と浜屋、園と保護者の連絡や情報の共有を円滑におこなっています。保護者にメールで連絡したり本社とリモート会議がおこなえる環境は、コロナ禍で保育士の業務負担を大幅に軽減しています。



育みのある環境づくり

心と身体の基本づくりが感性を育てます

もれあ保育園は、園児の「自己肯定感を育み、生きる力の土台づくり」を保育の目標にしています。

園児が大人の指示を待つのではなく、自分で考えて行動できるように育てたいと願っています。そのためにまず自分を見つめる力（自己理解）を育むことで、相手の気持ちや考えに気づき、相手を理解しようとする力（他者理解）を育むことにつながります。

意欲を引き出す保育

当園は年上の園児が年下の園児の世話をする「異年齢保育」に力を入れています。年上の子どもは年下の子どもに思いやりの心を持ち、年下の子どもは年上の子どもの行動に刺激を受ける（ロールモデル）ことで、子どもたちが進んで「こうなりたい」「やってみよう」と主体的に思える環境づくりを大切にしています。そのため保育士は安全面を考慮したうえで、子どもたちが「やらされている」と感じないように保育士の役割について共通理解を深めています。

食

自産自消：園内で育てた野菜を使用した給食等の提供
感覚教育：手づかみ食べの実施

学

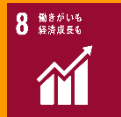
自然：裸足保育、木登り、どろんこ遊び
農業：四季を通じた野菜や果実の栽培（20種類以上）
ダイバーシティ：異年齢保育

触

春：梅もぎ（シロップづくり）、のびる採り（醤油漬け）
夏：水遊び、七夕そうめん流し、スイカ割大会
秋：十五夜会、芋煮会、芋掘り
冬：餅つき会、豆まき、

併設した農園では、一年を通じて季節の野菜を栽培し、収穫した野菜は給食で提供する「自産自消」や、健全な食生活を実現する「食育」にも活用されています。

園内では布オムツを使用しています。布オムツは快適な履き心地やオムツ離れを促すだけでなく、保育士と園児のスキンシップの時間にもなっています。紙オムツと異なって布オムツは再利用できるので、ゴミの排出と紙の使用の削減から環境保護にもつながっています。



雇用の安心

株式会社浜屋は、全ての従業員が安心して働ける環境づくりに努めています。

健康の遵守

従業員の健康増進のため、社内に設置した安全衛生委員会を中心に、従業員の健康の維持と向上に取り組んでいます。

- ▷ 40歳以上の従業員を対象に人間ドック（会社が一部負担）
- ▷ 研究職の従業員を対象にした特殊健康診断(自己負担なし)
- ▷ インフルエンザの予防接種（会社が一部負担）
- ▷ 分煙化に向けた取り組み
- ▷ 協会けんぽ「禁煙チャレンジ」
- ▷ ピロリ菌検査実施（自己負担なし）
- ▷ 健康に関する定期的な勉強会
- ▷ 健康診断で要注意に該当した従業員に定期的な栄養士の面談
- ▷ 外部の産業カウンセラーのコンサルティング
- ▷ 電話相談窓口の設置

ヘルスケア



ストレスチェック

- ▷ 厚労省で定める指針の57項目を年1回実施
- ▷ 健康経営を支援する専門会社の10項目のチェックを年1回実施

安全衛生委員会

安全衛生委員会は、外部の産業医と専門会社と協力して、従業員のヘルスケアに取り組んでいます。結果に対してフォローをおこない、従業員の健康の維持向上に努めています。

従業員（地域限定）のフィットネスの利用

新型コロナウイルスの蔓延を受けて、3密の回避、換気、体温チェック、手指の消毒、スペースを占有するストレッチの禁止などの感染症対策を厳密におこないました。

それによって、従業員は安心して運動することができ、ストレス発散につながっています。コロナ禍以前の利用よりも、その効果を実感しているという意見もあがっています。

サステナビリティ



ダイバーシティ 〈グローバル経営〉

浜屋ブラジル

PC基板などの解体、破碎、分別

浜屋ブラジルは、従業員が安心して働ける環境づくりに取り組んでいます。

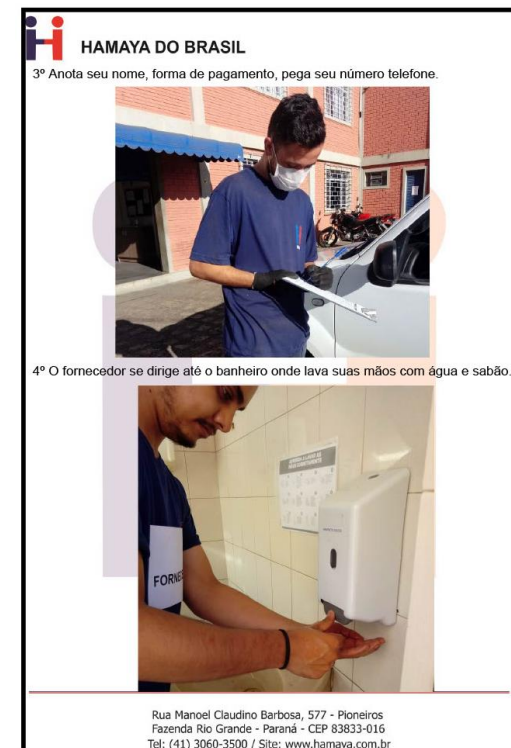
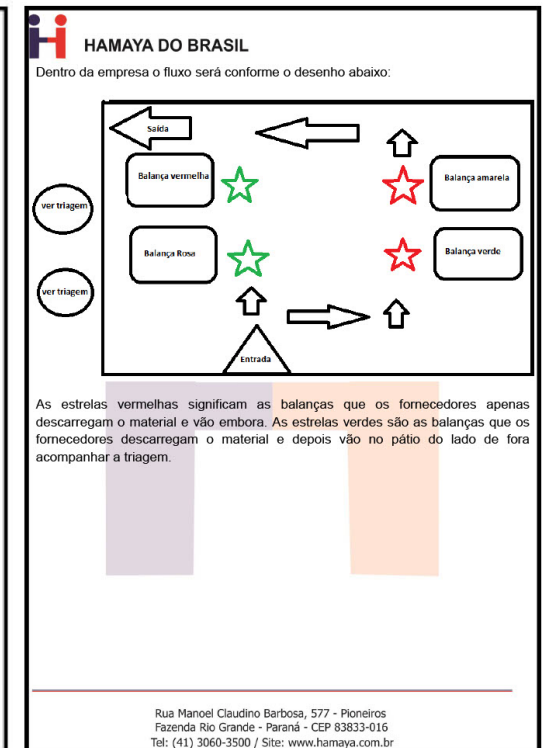
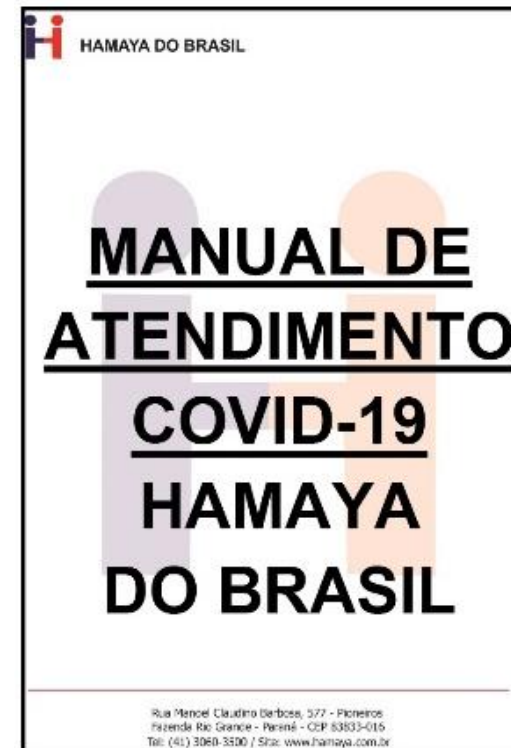
品質・環境方針

- ・顧客とサプライヤーの満足
- ・法律と規範の尊重
- ・環境汚染の防止

新型コロナウイルス感染症対策とその成果

浜屋ブラジルは新型コロナウイルス感染症のリスクに備えた対応マニュアルを作成して、従業員の感染予防に努めました。感染が広がるとブラジル政府は蔓延防止措置として営業停止を発出しましたが、浜屋ブラジルは独自のマニュアルに基づいた早急な対応を実施していた結果、自治体から特別に営業を許可されました。さらにマニュアルの完成度と運用実績が自治体から高く評価され、マニュアルとノウハウの提供の依頼を受けています。

COVID-19 対応マニュアル



サステナビリティ



ダイバーシティ 〈グローバル経営〉

浜屋ブラジル

PC基板などの解体、破碎、分別

浜屋が基板事業の最初の海外拠点として選んだのがブラジルでした。浜屋ブラジルは、リバース・ロジスティクス概念に基づき、回収拠点の設置、協同組合や回収業者、公共機関とのパートナーシップを通じて、回収されたすべての素材をリサイクルし、すべての部品を分別して国内外の関係産業に素材を送ります。浜屋ブラジルは、環境の尊重と維持を常に念頭に置き、リバース・ロジスティクス概念を用いて、地域社会、公共部門、民間部門などと協力してリサイクル事業に取り組んでいます。

コミットメント

- ▷ 浜屋ブラジルは、社会環境の発展を通じて、ブラジルの人々に健康で意欲的な生活を提供する
- ▷ 私たちは、環境を保護していく立場として、国の模範となるよう努力する
- ▷ 国際社会で、ブラジルの企業であることを自覚する

学術交流

環境について研究しているパラナ州立大学の大学生が、電子機器スクラップの処理方法を学ぶため浜屋ブラジルを訪問し、リサイクルについて見学をおこないました。

サステナビリティ



その他の取り組み

オウンドメディア

エコトピア <https://ecotopia.earth/>

環境問題の最新ニュースや、リサイクルの豆知識などの情報を発信するオウンドメディアを運営し、環境への興味や関心を高める啓発活動を実施しています。

多くの人々が環境問題を知り、リサイクルを知ることによって、より良い環境と資源を次の世代に残し、さらに人類と地球の発展がエコトピアの目指すものです。



高齢者の雇用

高齢者が活躍できる環境の整備

現在雇用している高齢者の継続雇用が評価され、シニア活躍推進宣言の認定を受けています。シニアの技術・経験を活かせるように、環境を整備しています。



コンプライアンスを学ぶ

一般社団法人日本リユース・リサイクル回収事業者組合(JRRC)

浜屋は、一般社団法人日本リユース・リサイクル回収事業者組合(JRRC)と協力して業界全体のコンプライアンスを高める勉強会、研修、資格制度などを回収事業者やリサイクル業者とおこなっています。また、その他のさまざまな業種の事業者や行政と協力し、資源の回収網を構築して、持続可能な社会の実現を図っています。

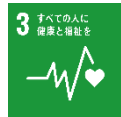


途上国の雇用創出

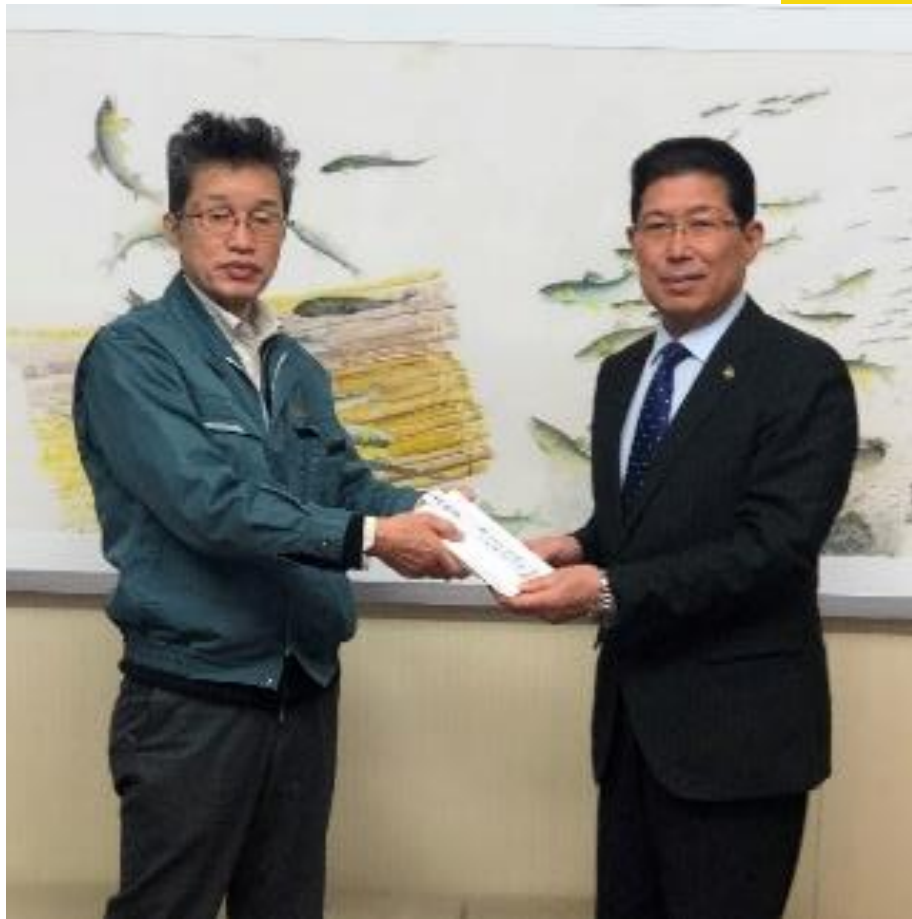
生活の質 (QOL) の向上

アフリカ、東南アジア、南米、中東などの国々に再利用可能なものを届けることで、現地の修理者と販売者の雇用創出されます。今まで購入できなかった商品の購入ができるようになることで、取引国の人々の暮らしの向上にも大きく貢献しています。





社会貢献



令和元年東日本台風 埼玉県東松山市災害ボランティア

2019年10月～11月

18日間のべ51名参加（10.14～11.14）

東松山災害の義援金として**471,785円**を東松山市役所で
森田市長に義援金を譲渡

九州豪雨災害被災地支援

タオルの寄付

2020年7月 東松山市と協力して、熊本県八代市へ浜屋の
業務内で仕入れた贈答品タオルを約**200kg**贈答

NPOに作業着を寄付

解体作業の安全性を高めるために、障がい者の
就労支援施設に作業着を寄付

NPOとの社外交流

NPO利用者による浜屋見学

提携先のNPOの利用者の方々に浜屋見学ツアーを実施



コンプライアンス

法令と企業倫理の遵守

E-wasteを含む特定有害廃棄物の取り扱いについて

E-wasteを含む特定有害廃棄物の取り扱いの輸入取引については、バーゼル条約を含む規制に関する法律(条約)に則り、適切な対応をおこなっています。

適切な対応と顧客ロイヤルティの向上

浜屋は、法令と企業倫理の遵守を次のように努めています。

- ①すべてのお客様に平等・公平で良質な商品とサービスの提供に努め、お客様からの高い評価と信頼を得られるよう行動する。
- ②環境省に定期的な報告の遵守をおこなって企業の社会的責任に努める。
- ③規格や品質に該当しない商品の返品の対応を通じて顧客ロイヤルティの向上を目指す。

▷ リユース品の取り扱いについて

お客様から商品の買い取りをする際、不良品が発生しないようしっかりと規格や品質を見極めた品質管理を徹底してます。仮に輸出したリユース品が修理不能な状態の場合、返品にかかる全費用は浜屋が負担しています。

環境省に修理不能品の返品と修理の状況についての定期報告をおこなっています。取引企業との契約は、リユース品を適切に修理できる技術と義務付けた修理フロー書の提出をクリアした該当企業のみリユース品の取引契約を締結しています。

また、定期的に取り引企業を訪問して適切に修理が実施されているかの確認や、環境省が取引国の現地調査をおこなう際は積極的に協力をしています。



コンプライアンス

公正な取引の遂行

犯罪の未然防止

持ち込まれた車両の買取または引取は、二輪車盗難照会システムを用いた取引車両のチェックによって盗難車両の中古市場への流入防止、犯罪の早期発見と被害の回復などに努めることにつながっています。浜屋は、不公正な取引の抑制および排除を徹底的におこなっています。



行動規範の徹底

浜屋は「思考・行動・判断」基準の統一を図るため、企業文化を文書化したCCS(Corporate Culture Standard)を全従業員で共有しています。企業理念を可視化していくことで、従業員の認識の共有を促して、各自が責任のある行動につながっています。

ハラスメント防止

セクシャルハラスメントやパワーハラスメントなどのハラスメント全般の禁止の規定と相談窓口を設置して、ハラスメントのない企業風土づくりに取り組んでいます。